



# 芳工連だより

‘22/06  
第 216 号

- 発行 芳賀町工業団地連絡協議会
- 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98
- TEL 028(677)5033
- <http://www.hokoren.com>
- E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)
- 編集責任者 渡辺 信夫

## ■ 定期総会を開催 ～3年ぶりに会員出席で開催～

5月20日第33回定期総会を、新型コロナウイルス感染防止を図るため1社1名（役員を除く）とさせていただきます関係で、38社40名と書面議決11社の計49社の出席で開催しました（出席率62.0%）。

来賓として古谷一良副町長（見目匡町長代理）にご臨席を賜りました。

議事については浦野誠会長が議長を務め、上程した令和3年度の事業報告・決算報告、令和4年度の事業計画(案)・予算(案)が原案どおり可決されました。これにより、令和4年度に限り会費の均等割額9万円を5万円に引き下げとなります。また、任期満了に伴います役員改選につきましても、理事会で推薦した役員が原案どおり可決されました。

席上、28年間副会長を務められ、今期勇退された(株)宮崎工作所 代表取締役会長 宮崎侑志郎様に浦野会長から感謝状が贈られました。

挨拶で浦野会長は「本日は、3年ぶりに会場での芳工連定期総会を開催する運びとなりました。コロナ禍で意思疎通がなかなか取れない状況でしたが、日頃から芳工連の活動に対する並々ならぬご理解とご協力、心より感謝を申し上げます。また役員の皆様、一年間にわたってのご活動、大変にお疲れ様でした。

さて、私たち事業を運営している企業を取り巻く環境は日々変化しています。特に、コロナの影響による働き方の適正化、サプライチェーンの崩壊是正が求められるとともに、円安によるエネルギー、資材など事業や生活への影響の先行きが不透明な渦中にあります。こんな時こそ、私たち企業が必要に応じて助け合い、良い環境を作ってまいりたいと思います」などと述べました。

古谷副町長から「発足から33周年の芳工連は79社80事業所で構成され、県内でも大規模な工業団地を有する町であることに誇りをもつとともに、雇用、経済効果に大いに期待をさせて



<浦野会長挨拶>



<浦野会長から宮崎様に感謝状の贈呈>



<宮崎様ご挨拶>

いただいています。また、芳賀第2工業団地は県企業局や関係機関の皆様のお陰をもちまして、今年度中に造成工事が完了し、立地企業が決定されます。芳賀町で安定した操業ができますよう町独自の支援策を予定しています。LRT につきましても、軌道工事に伴う交通渋滞等、皆様に大変ご迷惑をおかけしておりますが、工事の進捗に従い工業団地の中を走るイメージが具体的に描けるようになってまいりました。運行を開始した際には、皆様にも移動手段の一つとして是非ご利用していただきたいと思っております。工事完了まで、もうしばらくの間ご迷惑をおかけしますが、特段のご理解とご協力をお願いいたします」と町長のメッセージが披露されました。



<古谷副町長祝辞>

## ■ 改選された芳工連役員

役 職	企 業 名	役職及び氏名	備考
会 長	本田技研工業(株) 四輪事業本部 ものづくりセンター 生産技術統括部	生産技術企画管理部 シニアチーフエンジニア 浦野 誠	再任
副会長	ジェーピーエス製薬(株) 栃木工場	取締役相談役 富永 英夫	再任
//	(株)本田技術研究所	栃木総務ブロック主幹 種子 俊明	再任
//	(株)関電工 北関東・北信越営業本部 栃木支店	副支店長 多部田 学	再任
理 事	池田興業(株) 宇都宮支店	支店長 京條 友彦	再任
//	(株)オートテックジャパン	事業管理部 部長 遠藤 弘	再任
//	川田工業(株)	業務課 菅原 孝徳	再任
//	日本梱包運輸倉庫(株) 宇都宮営業所	所 長 浅香 博	新任
//	ホンダ開発(株) 栃木事業部	事業部長 小菅 伸介	再任
//	(株)リブドゥコーポレーション 栃木芳賀工場	本部長 上田 勝男	再任
//	サンクレール(株)	代表取締役 宮田 めぐみ	再任
//	芳賀町工業団地連絡協議会	事務局長 渡辺 信夫	再任
監 事	三菱UFJ信託銀行 栃木芳賀センター	センター長 細川 秀之	再任
//	清光電子(株)	代表取締役社長 篠澤 唯裕	新任
参 事	芳賀町建設産業部 商工観光課	課長 大根田 淳一	新任

## ■ 環境整備部会

環境整備部会では、工業団地の美化活動を工業団地内のすべての立地企業様に呼びかけ、クリーン作戦の実施を年3回予定しています。

第1回クリーン作戦は、5月26日63社から227名の皆様にご協力をいただきました。

ポイ捨てゴミや道路側溝のグレーチングを塞いでいる落葉の除去に汗を流していただきました。長年にわたる美化活動により、年々環境が良くなっている当工業団地です。以前に比べ空き缶、ペットボトルなどのポイ捨ても少なくなってきましたが、なかなか“ゼロ”とはいかないようです。

次回のクリーン作戦は、7月に予定しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、クリーン作戦に参加・協力いただきました企業様に改めて感謝とお礼を申し上げます。



## ■ 町政運営方針説明会の開催

5月17日（火）令和4年度町政運営方針説明会が町民会館で開催され、芳工連から浦野誠会長、富永英夫・種子俊明副会長、事務局渡辺の4人が出席しました。

この説明会は、町の主要施策を自治会、各種委員会などの代表者（約80名出席）に町長自ら説明し、行政情報を共有することで、町がどのような事務事業に重点を置き、どのように推進するかなどについてご理解いただく目的で開催されています。

工業団地に関する事業では、LRTの令和5年3月開業に向けてトランジットセンターを整備するとともに、生活路線バスの再編、工業団地通勤者向け循環バスの運行開始や経営拡大に取り組む立地企業支援などが計画されています。



### ～ 芳工連日誌 ～

#### 【 5月の実績 】

- 17日 町政運営方針説明会
- 20日 芳工連定期総会
- 25日 芳賀町商工会総会
- 25日 資源ごみ回収日
- 26日 クリーン作戦

#### 【 6月の予定 】

- 14日 第1回環境整備部会
- 14日 第1回総務企画部会
- 16日 第1回安全衛生部会
- 16日 第1回交通防犯部会
- 17日 第1回役員会
- 22日 資源ごみ回収日



下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号 下野新聞社 電話 028-625-1111 郵便振替口座 00180-1-623433

LRT開業再延期

来年3月から数カ月後

宇都宮市と芳賀町が進めるJR宇都宮駅東側の次世代型路面電車(LRT)整備事業で、2023年3月末を予定していた全線開業が一部工事の遅れで困難となり、両市町が開業延期の方向で最終調整していることが27日、関係者への取材で分かった。開業を延期すればこれで2度目。当初の開業予定は22年3月で、1年延期されていた。今回の延期幅は現在精査中だが、数カ月となる見込み。(画像信如)



JR宇都宮駅東側で進むLRT軌道敷設工事。一部区間の工期が遅れ、開業が再延期される見通しとなった。27日午後5時35分、宇都宮市東宿郷6丁目

宇都宮市と芳賀町調整 架橋工事に遅れ

関係者によると、芳賀町との境界に近い宇都宮市の野高谷交差点架橋工事が予定より約3カ月遅れている。清原 芳賀商工業団地に挟まれて交通量が多い上、熟練の作業員不足もあつて遅れを取り戻せない見通しになったという。

市は全線を通しての試運転を年内に実施するとしていたが、工期の遅れで年明けにずれ込む見通し。試運転に続く習熟運転の期間と合わせると、一般的に2、3カ月必要とされるため、来年3月の全線開業は事実上困難となった。

昨年2月に発表された1度目の開業延期では、軟弱地盤の強化工事など全線で約226億円の追加負担が明らかになり、概算総事業費は見込みの1.5倍に当たる684億円に膨らんだ。今回の工期の遅れに伴う追加負担は発生しない見込み。ただ開業を再延期すれば、LRT運営会社「宇都宮ライトレール」の開業

前経費が増えるのは必至。1度目の延期の際は5億円

の経費増を両市町が負担した。今回は宇都宮市側の事情が原因となるため、負担割合は今後の調整次第となりそうだ。芳賀・高根沢工業団地までの14・6キロで工事が進められている。現在は軌道敷設工事や停留場整備などが行われている。野高谷交差点架橋工事以外に目立った工期の遅れは出ていない。